

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 畑地帯総合整備(担い手支援)

箇所名: 西浦みかん江梨

照会者: 受益者(各集落の地元役員) 5名

担当課: 農地整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	幹線農道のうち、現道拡幅された区間について、本当に良い道になった。これまでは対向車が来れば狭い道を長距離バックして対応していたが、その必要もなくなった。今後も幹線農道の拡幅を継続して進めてほしい。	営農条件の改善に大きく寄与する幹線農道の拡幅について、引き続き効果的な施設整備に努めながら、早期完成を目指して事業を進捗します。
2	事業継続を要望	広がった道路沿いは大変便利になった。一方で、地権者から「自分のところの工事はいつになるのか」という問い合わせも役員に来る。とにかく早期の事業完成を望む。	
3	事業継続を要望	未整備の支線農道について整備を進めてほしい。	支線農道については、施工時に全面通行止めが必要であり、迂回路がないため、幹線農道との同時施工ができなかったところですが、幹線農道工事の進捗に伴い順次迂回路が確保できていくため、未着手の支線農道(付随する排水対策含む)についても整備を進めてまいります。
4	事業継続を要望	支線農道の排水が心配。昔から水が集中する箇所があり、過去(=事業開始前)には災害も起きている。事業の中でうまく考えて解決してほしい。	
5	事業継続を要望	幹線道路の新規開設や拡幅に伴い、降雨時の排水の流れが変わってくるため、民地への被害が発生しないよう留意願いたい。	農道整備に伴い必要となる流末排水路の断面改修については、幹線農道の起点部にて整備済みです。また、農道拡幅中も降雨時の状況を現地確認し、追加対応が必要となる箇所を常に精査しつつ事業を実施します。
6			
7			
8			
9			
10			

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 畑地帯総合整備事業

箇所名: 東光寺岸

照会者: 受益農家, 地元自治会員

担当課: 農地整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	<p>拡幅区間については、大変便利になった。</p> <p>しかし、待避所区間については対向車とのすれ違う時にヒヤットする状況である。拡幅工事の延伸を希望する。</p> <p>拡幅工事により表面水の流れが変わり、斜面の崩壊等が発生している。排水対策に万全を期すよう要望する。</p>	<p>残る拡幅工事を進めるとともに舗装工事も進め、利便性、安全性の向上を図る。</p> <p>待避所設置区間については、山が急峻で切土による拡幅は超大規模土工となり施工は困難である。谷側への盛土による拡幅も宅地山側の盛土となり影響が大きく困難である。そのため壁の倒壊している側溝を蓋つき側溝で改修するなどの簡易拡幅、凸凹路面の舗装補修等により走行性の改善を図る予定。</p> <p>排水処理については、沢地形部に分散排出(フン籠による浸食防止措置有り)している。過去に崩落のあった箇所については、了承を得たうえで、非宅地の藤枝側にも排水する等の対策を講じている。</p>
2	事業継続を要望	<p>拡幅済区間は、すれ違いも容易で安心して走れる。全区間での早期拡幅を希望する。</p> <p>現在、未舗装であるため早期の舗装工事とガードレール未整備区間の設置を希望する。</p> <p>側溝に土砂や落ち葉がたまり排水が道路面に流れ出ている箇所がある。対策を講じてほしい。</p>	<p>残る拡幅工事を進めるとともに舗装工事も進め、利便性、安全性の向上を図る。</p> <p>側溝の管理について、配慮する。</p>
3	事業継続を要望	<p>地元茶農家の減少する中、地域外の方の栽培管理により岸、東光寺茶園の景観が保たれている状況です。今後その傾向は顕著になっていくと思います。通行の安全、作業効率控除のためにも道路整備を継続して欲しい。</p> <p>工事期間は、茶閉期(10月～3月)での実施を希望する。</p>	<p>引き続き、作業効率化を図る道路整備を継続する。</p> <p>工事期間について、農繁期を避けた工程となるよう配慮する。</p>
4	事業継続を要望	<p>拡幅した農道は、安全性が向上している。今後はますます高齢化が進むと思われるため安全のために拡幅工事を継続して欲しい。</p> <p>ハザードマップに記載されている土砂災害の危険個所に排水が流れないように排水対策を講じてほしい。</p>	<p>引き続き、拡幅工事を継続する。</p> <p>排水処理については、できる限り、危険箇所への排水の流入を避けるよう、沢地形部に分散排出(フン籠による浸食防止措置有り)している。</p>
5	事業継続を要望	<p>東光寺農道、岸線工事にかかれこれ20年以上経過している。当初計画より遅れていると思うので早急に完成して欲しい。</p> <p>過去の豪雨で斜面の崩落が起きている。岸側には民家があるため、排水による災害の発生が心配です。排水を岸側に流さないでください。</p>	<p>予算確保に努め、拡幅未了区間の拡幅を優先し、舗装工事も並行して進めて早期の完成を図る。</p> <p>排水処理については、沢地形部に分散排出(フン籠による浸食防止措置有り)している。過去に崩落のあった箇所については、了承を得たうえで、非宅地の藤枝側にも排水する等の対策を講じている。</p>
6	事業継続を要望	<p>農道整備については、早期の完成を期待しています。</p> <p>以前、大雨時に山林の一部が崩落しました。崩落土砂の撤去等のその後の対応について、要望したが回答が無いまま現在に至っている状況です。</p>	<p>予算確保に努め、拡幅未了区間の拡幅を優先し、舗装工事も並行して進めて早期の完成を図る。</p> <p>左記の崩落箇所について、令和元年および2年度に現地確認を実施し農道整備との因果関係が不明瞭につき、対応不可と回答済み。</p>

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 畑地帯総合整備事業
 箇所名: 東光寺岸
 照会者: 受益農家, 地元自治会員

担当課: 農地整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
7	事業継続を要望	<p>改良された区間は、安全で便利な良い道路になった。事業継続を希望する。</p> <p>待避所区間については、道路の荒廃(沈下、舗装劣化)、樹木の折れ等があり通行困難になることが多い。何らかの整備を期待する。</p> <p>下流域に被害が出ない排水対策を講じてほしい。</p>	<p>残る拡幅工事を進めるとともに舗装工事も進め、利便性、安全性の向上を図る。</p> <p>待避所設置区間については、山が急峻で切土による拡幅は超大規模土工となり施工は困難である。谷側への盛土による拡幅も宅地近接の盛土となり影響が大きく困難である。そのため壁の倒壊している側溝を蓋つき側溝で改修するなどの簡易拡幅、凸凹路面の舗装補修等により走行性の改善を図る予定。</p> <p>排水処理については、沢地形部に分散排出(フン箆による浸食防止措置有り)している。過去に崩落のあった箇所については、了承を得たうえで、非宅地の藤枝側にも排水する等の対策を講じている。</p>
8	事業継続を要望	<p>畑総事業により農産物の運搬や管理がしやすくなり安定的な収入が得られるようになる。また、取り巻く環境が改善され子供や高齢者も含め生活しやすくなることで地域が活性化し人口増加につながるが大いに期待されます。すでに整備が完了している地域を見ると以前に比べ整然とした都会的な雰囲気が感じられる。今後も継続した畑地整備事業をお願いします。</p>	<p>残る拡幅工事を進めるとともに舗装工事も進め、利便性、安全性の向上を図る。</p>
9	事業継続を要望	<p>事業の継続は、営農支援の観点から非常に重要で、藤枝市側(谷稲葉側)と島田市側(東光寺側)は整備が完了しており、残る東光寺岸線の事業促進を強く望みます。</p> <p>待避所設置箇所から南(下)側は野面石積の上に竹が生い茂り根本が崩れかかっているため毎年倒竹で危険な状況にある。事業による対策を希望します。</p> <p>上部から排水が山裾部に流れてくるが、土砂の堆積で危険な状況がある。住宅が多くあるので安全な排水計画に配慮してください</p>	<p>予算確保に努め、早期の完成を図る。</p> <p>竹の繁茂と崩落危険性については、現地状況を踏まえ、対策を検討する。</p> <p>排水処理については、沢地形部に分散排出(フン箆による浸食防止措置有り)している。過去に崩落のあった箇所については、了承を得たうえで、非宅地の藤枝側にも排水する等の対策を講じている。</p>
10	事業継続を要望	<p>農業用車両、一般車両、歩行者等多くが利用する道路であるため早期の完了を希望する。</p> <p>最終工法等について毎年、説明をして欲しい。</p> <p>排水処理については、現地をよく確認し設計するように。</p>	<p>予算確保に努め、早期の完成を図る。</p> <p>工事については、工事実施前に地元説明会を実施しており、引き続き、工事の都度、説明を行う。</p> <p>排水処理については、現地状況を踏まえた設計を引き続き行うとともに、新たに排水対応の必要性が生じた箇所には、必要な対策を講じていく。</p>
11	事業継続を要望	<p>農業従事者が高齢化する中で現行の狭い道では危険である。耕作放棄地を拡大させないためにも、営農条件として道路拡幅は必要である。</p> <p>進捗状況等について、年に1回知らせてほしい。</p> <p>一般的に工事期間が長い。着工すれば関係者はひとまず安心するが、もう少し工事箇所を絞って集中的にできないか。</p>	<p>残る拡幅工事を進めるとともに舗装工事も進め、利便性、安全性の向上を図る。</p> <p>工事進捗については、工事実施前の地元説明会にて引き続き、説明を行う。</p> <p>安全性を最優先にした上で、工事期間の短縮についても、配慮していく。なお、営農に配慮して工事していることから、工事箇所が分散する場合があることについて、ご承知いただきたい。</p>

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 中山間地域総合整備事業
 箇所名: 東河地区
 照会者: 東河地区の受益者

担当課: 農地保全課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	道路の拡幅整備により、安全な通行と農業の生産性が向上した。幅員は3mでなく4mあればなお良かった。	受益地内のカーネーションのハウス栽培が継続して営農され、農道拡幅の効果が発現されている。幅員は条件から3mとしたが、待避所を設けることにより安全な通行に配慮している。
2	事業継続を要望	まだまだ田畑・山林等、道が整備されていないところもあり、荒地になることが予測される。有効に活用するためには整備が必要。鹿等の対策もお願いしたい。	当該地区の農道・排水路整備により農業の生産性が向上し、優良農地の確保に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。 鳥獣害対策は現況調査を行い、必要に応じて町と対策を検討する。
3	事業継続を要望	人間の生命を守る食(米・野菜・果物)の環境整備は最も重要な事業と思います。	引き続き早期完成を目指して事業を推進する。 なお、未整備の農道は、これまで狭隘な箇所を方押しで進めてきたが、今後は終点部の改良済道路からも施工が可能となり、両側から進める。また、工法も既存施設を活用した片側拡幅とすることから、計画どおりの完成が見込まれる。
4	事業継続を要望	農道の整備により、農業の生産性が向上した。地区内には未整備箇所もあり、早期完成を望む。	引き続き早期完成を目指して事業を推進する。 なお、未整備の農道は、これまで狭隘な箇所を方押しで進めてきたが、今後は終点部の改良済道路からも施工が可能となり、両側から進める。また、工法も既存施設を活用した片側拡幅とすることから、計画どおりの完成が見込まれる。
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 道路改築事業

箇所名: 国道362号(本川根～静岡バイパス)

照会者: 国道362号(本川根～静岡バイパス)の受益者

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	長島ダム建設により、地元には静岡に抜ける道路が整備される約束であった。ダムは完成しても道路整備に時間が掛かっているため、早期の完成を望む。	当該地域と静岡市を結ぶ重要な道路であるため、早期完成を目指し事業を推進する。
2	事業継続を要望	新東名高速道路静岡スマートICからナビの誘導により、現道(362号)が案内されるが、バスやトレーラーが立往生することがあったため、早期の供用開始を望む。	本川根静岡バイパスの整備により、狭隘かつ線形不良箇所が解消され、安全で円滑な交通が確保されるとともに、静岡市側からの観光交通のアクセス性向上にも寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	木材の搬出は大井川沿いを島田ルートを利用して、トレーラーで岡部へ運んでいる。静岡へ抜けるルートの道路整備も進めてほしい。	当該地域と静岡市を結ぶ重要な道路であるため、早期完成を目指し事業を推進する。
4	事業継続を要望	現道のヘアピンカーブがきつくて大型車両は通れないので、通行不能の予告看板が設置されて良かった。東京方面から静岡スマートICを利用する観光客は道が狭くて困惑するので、早期の供用開始を望む。	本川根静岡バイパスの整備により、狭隘かつ線形不良箇所が解消され、安全で円滑な交通が確保されるとともに、静岡市側からの観光交通のアクセス性向上にも寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	発電所への往来や静岡支店から当事務所へ来る職員が現道を利用するが、カーブが多く事故の危険がある。このため、旧本川根町民の悲願である富士城バイパスの早期完成を望む。	本川根静岡バイパスの整備により、狭隘かつ線形不良箇所が解消され、安全で円滑な交通が確保されることことから、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	キャンプ場の利用者は、静岡方面から来訪する方が多いが、現道は道幅が狭くてカーブも多いため、早く広く整備してほしい。	本川根静岡バイパスの整備により、狭隘かつ線形不良箇所が解消され、安全で円滑な交通が確保されるとともに、静岡市側からの観光交通のアクセス性向上にも寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	山間部の狭隘区間で工事をして助かります。旧本川根側が整備されても、静岡市側の整備が進まないと利便性が上がらない。井川方面に向かう救急車は、362号を利用するので、早く全区間が完成することを切望します。	本川根静岡バイパスの整備により、第3次救急医療体制が整う静岡市内の病院への搬送時間の短縮や救急搬送時の患者への負担も軽減されることから、早期完成を目指し事業を推進する。また、静岡市側の整備が進むよう市に情報共有していく。
8	事業継続を要望	静岡空港を活用した、循環型道路網が出来ると、観光の促進に大きく寄与すると思う。現在は、島田ルートの往復となっているが、バスの通行に支障がある狭隘区間も一部あるため早期の整備を望みます。	本川根静岡バイパスの整備により、狭隘かつ線形不良箇所が解消され、安全で円滑な交通が確保されるとともに、静岡市側からの観光交通のアクセス性向上にも寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	長島ダムの建設と同時期の完成を望んだが、道路整備に時間が掛かっている。災害等が発生した場合、孤立する危険もあるため、早期の完成を望みます。	本川根静岡バイパスの整備により、防災上の要対策箇所が解消され安全で円滑な交通が確保されるとともに、事前通行規制区間の緩和にもつながることから、早期完成を目指し事業を推進する。
10	事業継続を要望	自分が免許を取得した当時と比べると、走行性が格段に良くなったので、残りの区間の整備も早く進めてほしい。静岡からの出勤者も複数いるため、静岡市境から久能尾の間の整備が必要です。	当該地域と静岡市を結ぶ重要な道路であるため、早期完成を目指し事業を推進する。また、静岡市側の整備が進むよう市に情報共有していく。
11	事業継続を要望	現状は島田ルートを選択しており、362号の通行は患者が静岡方面を希望した場合にだけ利用している。救急車の使用も現道はカーブが多く、患者さんへの負担が大きくなるため、基本は島田へ抜けている。	本川根静岡バイパスの整備により、第3次救急医療体制が整う静岡市内の病院への搬送時間の短縮や救急搬送時の患者への負担も軽減されることから、早期完成を目指し事業を推進する。
12	事業継続を要望	道路が早く整備されて、東京(関東圏)からの観光客が地元の川根茶を購入して集客数が増えてくれるとうれしい。インターネットで検索して、買いにくるお客さんが多いため、静岡スマートICからの道路を早く整備してほしい。	本川根静岡バイパスの整備により、安全で円滑な交通が確保されるとともに、静岡市側からの観光交通のアクセス性向上にも寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
13	事業継続を要望	災害の時に陸の孤島にならないように、2ルートある方が安心できる。道路が整備されることで、観光と連携できると効果があがると思うので、早期の開通を望みます。	本川根静岡バイパスの整備により、防災上の要対策箇所が解消し、災害に強い道路ネットワークが構築されるとともに、静岡市側からの観光交通のアクセス性向上にも寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 道路改築事業

箇所名: 一般国道135号伊東市吉田～川奈拡幅

照会者: 道路改築事業の受益者 10名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> 伊豆縦貫自動車道の整備が進むことで、伊豆東海岸に位置する伊東市への観光客の減少を危惧している。 (国)135号の4車線化は、伊東市が素通りされてしまうことを一定程度は抑制する効果が期待でき、重要な整備であると考えている。 事業区間は、伊東市における道路ネットワークのハブ地点であり、川奈プリンスホテルで開催される有名なゴルフ大会に訪れる来場者の多くは、川奈口交差点を利用するため、当該区間の渋滞対策事業は重要であり、渋滞の解消は観光客の利便性の向上に直結している。 	渋滞緩和等の整備効果を早期発現できるよう、交差点間単位で部分供用を図るなど、効率的に事業を推進していく。
2	継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> コロナ前までは、観光入り込み客数は右肩上がりであったが、一方で、インバウンド数の伸びは比較的小さい状況であり、インバウンド数の飲み込みは、2次交通や道路網が十分整っていないことが原因の一つであると考えている。 川奈口付近の渋滞など、観光バスが当該道路の通過を敬遠し、しっかり客を取り込めていない。 マイカー利用者であるゴルファーからは、川奈口付近の渋滞((国)135号の渋滞)緩和を図ってほしいとの声をよく耳にする。 インバウンド及び観光入込客の確保には、道路整備等が重要であると考えている。 	渋滞緩和等の整備効果を早期発現できるよう、交差点間単位で部分供用を図るなど、効率的に事業を推進していく。
3	継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> 来場者の7～8割が、南関東からの客である。 コロナ前は、来場者のうち、1割程度はインバウンド客であり、中華系の客が多く、確実な集客を見込めていた。 インバウンド客の多くは、昔は大型バスで乗り合わせ、数箇所の観光施設をめぐるものであった。最近では、レンタカーや小型バス等、FIT(小グループでの移動)が主流となっており、数々の観光施設を小回り良く巡っており、団体ツアーから観光手法が変化しており、走りやすい道路整備が重要である。 	4車線化により、観光施設間の周遊性向上が期待できることから、整備効果の早期発現を目指し、効率的に事業を推進していく。
4	継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川や東京圏域からの入込客が圧倒的に多い。 往路よりお土産の購入が期待できる復路で入込客を取り込みたいと考えている。 (国)135号において渋滞緩和に資する整備を希望する。 	渋滞緩和等の整備効果を早期発現できるよう、交差点間単位で部分供用を図るなど、効率的に事業を推進していく。
5	継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> (市内で和菓子店を営んでいる) 殿山交差点にある支店での売り上げが最も大きい。 コロナ前は大型観光バスが乗り付けていたが、最近では大型バスよりマイカーで少人数で来店される方が多くなってきている。大型バスでの来店者は、ツアーに組み込まれているため、渋滞でも必ず来店いただけるが、マイカー利用者はナビ等で渋滞が確認された場合に迂回されてしまうと思う。 利用者にいつも渋滞しているという印象をあえないためにも、渋滞緩和に資する事業を進めてもらいたい。 	渋滞緩和等の整備効果を早期発現できるよう、交差点間単位で部分供用を図るなど、効率的に事業を推進していく。
6	継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> (市内で訪問介護事業を営んでいる) 川奈口交差点付近に高齢者の福祉施設を新規オープンすべく、現在、施設を建設中である。 訪問看護の場合、予定時間通りに利用者のご自宅に伺うことが非常に重要であるため、余裕をもって訪問予定時間を調整しているが、国道135号は、特に夏季シーズンの渋滞がひどく、訪問時間が大きく狂うことが多い。 国道135号は伊東市のメイン道路であり、渋滞が発生しにくいよう行政も工夫していただきたい。 	4車線化により、走行時間の定時制が確保されるものと考えている。渋滞緩和等の整備効果を早期発現できるよう、交差点間単位で部分供用を図るなど、効率的に事業を推進していく。
6	継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> 伊豆の道路は夏に特に渋滞しているというイメージが定着しており、渋滞が伊豆の魅力を下下させている一因と考えている。 公共の交通機関があまり発展しておらず移動種手段の選択肢が少ない伊豆地域では、鉄道と道路の利便性が高いことが、選ばれる伊豆地域であり続ける条件の一つである。 	渋滞緩和等の整備効果を早期発現できるよう、交差点間単位で部分供用を図るなど、効率的に事業を推進していく。
7	継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> 工事の進捗が見えてきており、安心している。当該地域の渋滞解消するため、事業を進めてほしい。 	渋滞緩和等の整備効果を早期発現できるよう、交差点間単位で部分供用を図るなど、効率的に事業を推進していく。
8	継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> 工事の進捗が見えてきており、安心している。当該地域の渋滞解消するため、事業を進めてほしい。 	渋滞緩和等の整備効果を早期発現できるよう、交差点間単位で部分供用を図るなど、効率的に事業を推進していく。
9	継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> バス運行者として渋滞緩和を要望。 事業区間内で伊東駅行バスの到着時間が遅れ、JR伊東駅発の電車に間に合わない利用者にも迷惑を掛けてしまう。 渋滞少ない道路整備を希望を行ってほしい。 	4車線化により、走行時間の定時制が確保されるものと考えている。渋滞緩和等の整備効果を早期発現できるよう、交差点間単位で部分供用を図るなど、効率的に事業を推進していく。
10	継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> 緊急車両が渋滞に巻き込まれ、活動に支障が生じることは非常に問題である。 伊東は観光地であり夏季の渋滞が激しく、アフターコロナ後、今以上に顕著になると思われるため、ハード面の整備を進めてほしい。 	緊急時や有事の際に、道路の持つ機能が早期に確保されるよう、交差点間単位で部分供用を図るなど、効率的に事業を推進していく。

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 道路改築事業

箇所名: 一般国道150号 磐南Ⅱバイパス

照会者: 道路整備事業の受益者 11名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	・ 福田地内を通る150号の交通量が多いため、早期のバイパスの完成を希望する。 ・ 国道150号の掛塚橋の渋滞の解消のため、事業の早期完成を要望します。	依然として慢性的な渋滞が発生していることは十分認識している。遠州大橋の無料化され、更に本バイパスが整備されることにより国道150号の交通量の分散が期待されることから、磐田市との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	福田地内を通る150号の交通量が多いため、早期のバイパス完成を希望します。	依然として慢性的な渋滞が発生していることは十分認識している。磐田市との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	150号線の混雑解消のため早期のバイパス完成を希望します。	依然として慢性的な渋滞が発生していることは十分認識している。磐田市との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	150号の交通量増加による渋滞解消のため、早期完成の要望をします。	依然として慢性的な渋滞が発生していることは十分認識している。磐田市との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	渋滞解消になるので早く完成を希望する。 塩新田から福田石田地区、7番組地区の道路は狭いままなのでこの地区での交通量が多くなるのは心配。	依然として慢性的な渋滞が発生していることは十分認識している。磐田市との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。また、バイパスから国道150号現道の方へ車両を誘導するよう、案内標識等のソフト対策をバイパス整備に合わせ実施していきます。
6	事業継続を要望	福田地内を通る150号の交通量が多く、朝は渋滞してうかい道路も混んでいます。渋滞解消のため事業の早期完成を要望します。	依然として慢性的な渋滞が発生していることは十分認識している。磐田市との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	バイパス完成による産業、経済効果、地域の活性化が図られると思います。1日も早く進めるべき事業です。	バイパス整備により拠点間のアクセス性が向上し、物流や観光面等の活性化に寄与すると考えられるため、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	一色地内を通る車が多いため、早期のバイパス完成を希望する。国道150号の掛塚橋の渋滞解消のため、事業の早期完成を要望します。	依然として慢性的な渋滞が発生していることは十分認識している。磐田市との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	鮫島交差点付近の交通量は朝、信号待ちする時間が長く、中には住宅地の細い道に入ってくる車があったりして危険である。福田地内の渋滞解消のためにも早くバイパス工事を完成させてもらいたい。	依然として慢性的な渋滞が発生していることは十分認識している。磐田市との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	鮫島地区内(北交差点～南交差点)は朝、夕の交通量が多く特に北交差点では南側から福田方面への右折車でいっぱいになります。早期の完成をお願いします。	バイパス整備により、バイパスから国道150号現道へアクセス道路が増加し、当該箇所の渋滞軽減が期待されることから、早期完成を目指して事業を推進する。
11	事業継続を要望	福田地内を通る国道150号の交通量が多く、また、掛塚橋の渋滞解消のため、早期のバイパス完成を希望する。	依然として慢性的な渋滞が発生していることは十分認識している。磐田市との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 道路改築事業

箇所名: 一般国道150号 御前崎拡幅

照会者: 道路整備事業の受益者 11名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	道が広くなり走りやすくなるので事業の継続はしていただきたいと思いますが、工事期間が長いと感じるので早く工事が終わるといいなと思います。	整備効果を早期発現できるよう、交差点間単位で部分供用を図るなど、効率的に事業を推進していく。
2	事業継続を要望	安全に快適に走行できるように拡幅願います。	4車線化により、走行時間の定時制が確保されるものと考えており、また、中央分離帯の設置や交差点の集約などにより安全性も期待できることから、早期完成を目指して事業を推進していく。
3	事業継続を要望	国道150号線の早期完成をお願いします。御前崎市民向けに事業の進捗状況や工事期間等をPRして欲しい。	整備効果を早期発現できるよう、交差点間単位で部分供用を図るなど、効率的に事業を推進していく。御前崎市と連携して事業の進捗状況を共有し、的確な情報提供を図っていく。
4	事業継続を要望	事業着手より長い期間を要していることから、早期全線完了をお願いしたい。	整備効果を早期発現できるよう、交差点間単位で部分供用を図るなど、効率的に事業を推進していく。
5	事業継続を要望	国道150号は駿河湾西部沿岸における地域経済活動を支える幹線道路であり、御前崎港と結ぶ陸上輸送に役立てられ地域の活性化に寄与する重要な路線であります。また、交通渋滞を緩和し、さらなる活力ある道路にして頂き、事業継続を要望いたします。	4車線化により、走行時間の定時制の確保などにより物流の活性化への寄与が期待できることから、早期完成を目指し事業を推進していく。
6	事業継続を要望	車両の移動を早くしたい。	4車線化により、走行時間の定時制が確保されるものと考えていることから、早期完成を目指し事業を推進していく。
7	事業継続を要望	現在4車線化が進んでいますが、4車線化が済んだ区間とまだ施工されていない区間で交通の利便性が大きく変わるため、事業継続を要望します。	整備効果を早期発現できるよう、交差点間単位で部分供用を図るなど、効率的に事業を推進していく。
8	事業継続を要望	4車線化が進められており、事業を中止した場合、渋滞の発生が考えられるため。	早期完成を目指し事業を推進していく。
9	事業継続を要望	国道150号は交通量の多い路線のため、4車線化により利便性が大きく向上するため。	早期完成を目指し事業を推進していく。
10	事業継続を要望	利用頻度が高く、高松地区住民だけでなく、利用者すべてが、利便性の向上につながると思うから、引き続き事業継続を要望します。	早期完成を目指し事業を推進していく。
11	事業継続を要望	早期完成をお願いします。	早期完成を目指し事業を推進していく。

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名： 道路改築事業
 箇所名： 一般国道473号 金谷相良道路Ⅱ
 照会者： 一般国道473号 金谷相良道路Ⅱの受益者

担当課： 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	運輸部会等でも、国道1号の4車線化、三遠南信自動車道、国道473号バイパス等の事業のストック効果を研究している。毎年、要望活動も行っており、本年度も早期完了を要望したい。令和6年度の開通見通しも公表され、企業の期待も大きい。経済界からは、防災の面からも「命のみち」と考えている。	金谷御前崎連絡道路の延伸とともに、沿線に新たな企業が進出するなど、道路のストック効果が発現されてきている。また、富士山静岡空港に連結する国県道が中部版くしの歯作戦の啓開道路に位置付けられており、金谷相良道路Ⅱの開通により防災機能が強化されることから、早期開通を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	国道1号バイパスの菊川IC付近からは、国道473号バイパスの大きな橋が完成し、ようやく形が見えてきたように感じる。ここまで来たのであるから、大いに進めていただきたい。菊川ICのフルインターチェンジ化など、菊川方面へのアクセスが著しく向上し、利便性が向上することは期待が大きい。	菊川ICのフルインターチェンジ化も実施されており、金谷相良道路Ⅱと一体となって広域道路ネットワークが形成されることから、早期開通を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	富士山静岡空港、ふじのくに茶の都ミュージアムを国道1号とつなげる国道473号バイパスは人の流れを変えようとする。国道473号の現道(倉沢ICから国道1号大代ICまで)を走行する大型車がバイパスへ転換すれば、牧之原の茶園や既存住宅地への排ガスや騒音問題も改善されることから、早期開通を期待する。	金谷相良道路Ⅱの整備により、周辺施設間のアクセス性が向上するとともに、通過交通がバイパスへ転換され、現道交通が地域に与える影響も縮減されることから、早期開通を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	企業誘致においては、様々な企業から「1日も早い開通をお願いしたい。」との声を多数聞いている。物流企業は、高速道路ではなく一般道路を利用する機会も多いが、空港、港、工業団地が規格の高い道路でつながるのは大きなメリットがある。KADODE O01GAWAの利用者も100万人を突破したが、コロナ禍で観光需要の見通しが立たない中、空港や茶の都ミュージアム等を連携できる道路の整備は、コロナ禍からの復活を後押しするのではと期待できる。	金谷相良道路Ⅱの整備により、国道1号及び東名高速道路等の規格の高い道路と結ばれることにより、陸・海・空の交通ネットワークが形成され、物流や観光面等において更なる活性化に寄与することから、早期開通を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	国道473号バイパスが完成すれば、現道の交通もバイパスに転換し、地元(金谷中、金谷小)の生徒や児童の通学へも安全性が高まる。また、災害の危険性も高い現道への代替路線として、地域の安全性も高まる。ぜひ、早く開通させてほしい。	金谷相良道路Ⅱの整備により、大型車等の通過交通がバイパスへ転換されることで現道の安全性向上に寄与し、また、現道部の地滑り危険区域が回避されることで防災機能の向上が図られることから、早期開通を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	島田市は、国道1号を中心として新東名高速道路、富士山静岡空港、東名高速道路、重要港湾御前崎港を結ぶ交通の結節点であり、これを結ぶ道路は地域にとって大きな経済効果をもたらすため、今後も継続した事業促進をお願いしたい。	金谷相良道路Ⅱの整備により、国道1号及び東名高速道路等の規格の高い道路と結ばれることにより、陸・海・空の交通ネットワークが形成され、物流や観光面等において更なる活性化に寄与することから、早期開通を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	東名高速道路、新東名高速道路、富士山静岡空港、重要港湾御前崎港を結ぶ道路は、大規模災害時における救命活動、物資輸送、復興活動に欠かせないものであるため、早期実現を要望する。	富士山静岡空港に連結する国県道が、中部版くしの歯作戦の啓開道路に位置付けられており、金谷相良道路Ⅱの開通により防災機能が強化されることから、早期開通を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	志太様原・中東遠地域における「陸・海・空」の広域交通ネットワークを早期に形成するため、国道473号バイパスの早期整備と供用を要望する。	金谷相良道路Ⅱの整備により、国道1号及び東名高速道路等の規格の高い道路と結ばれることにより、陸・海・空の交通ネットワークが形成され、物流や観光面等において更なる活性化に寄与することから、早期開通を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	金谷相良道路Ⅱの整備により、完成車や部品を輸送する際の定時性や代替性が確保されるようになるため、早期の整備を期待する。	金谷相良道路Ⅱの整備により、国道1号及び東名高速道路等の規格の高い道路と結ばれることにより、陸・海・空の交通ネットワークが形成され、物流面において更なる活性化に寄与することから、早期開通を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	搬送している自動車に傷がつかないように注意しているため、国道473号現道区間の道路線形、縦断線形が悪い箇所、雑草が車道まで伸びている箇所は、速度を落として通行している。金谷相良道路Ⅱが整備されれば、それらの不安要素が解消されるのではと期待している。	金谷相良道路Ⅱの整備により、国道1号及び東名高速道路等の規格の高い道路と結ばれることにより、陸・海・空の交通ネットワークが形成され、物流面において更なる活性化に寄与することから、早期開通を目指して事業を推進する。
11	事業継続を要望	中部横断自動車道や伊豆縦貫自動車道の整備により、山梨県や伊豆方面から富士山静岡空港を利用する方が増えている。金谷相良道路Ⅱの整備により更にアクセスが良くなるのが期待される。ただ、初めて富士山静岡空港を利用される方もいるので、わかりやすい案内誘導も併せてほしい。	金谷相良道路Ⅱの整備により、国道1号及び東名高速道路等の規格の高い道路と結ばれることにより、陸・海・空の交通ネットワークが形成され、観光面において更なる活性化に寄与することから、早期開通を目指して事業を推進する。

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 道路改築事業

箇所名: 県道高洲和田線

照会者: 県道高洲和田線の受益者(自治会役員等)

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	当該道路を完成することにより、焼津市及び藤枝市の両市にとって渋滞緩和、災害時の輸送路の確保など、広範囲に及ぶ交通の円滑化が図られるため、確実に事業継続してほしい。	バイパスの供用により、通学路の安全性向上や交通の円滑化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	市道との交差点は、朝夕大渋滞が起きている。また自転車通学する高校生等も多く見受けられるが、道路幅は狭く、見通しも悪いため非常に危険な箇所となっている。	バイパスの供用により、通学路の安全性向上や交通の円滑化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	市道との交差点は「交通の要衝」になっており、通勤時間帯には酷い渋滞が発生する。また、自転車を利用する高校生の通学路にもなっており、車両と自転車による出会いがしらの交通事故が発生する危険性が高い場所である。以上のことから、事業継続はもとより、一日も早い整備を要望する。	バイパスの供用により、通学路の安全性向上や交通の円滑化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	市道との交差点は左右の見通しがわるく曲がりづらい。 道路整備及び信号機の設置を要望する。	バイパスの供用により、通学路の安全性向上や交通の円滑化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。 信号機については、道路整備にあわせ設置することで警察と協議を行っている。
5	事業継続を要望	朝夕の交通渋滞の緩和及び歩行者・自転車通学の安全確保を望む。	バイパスの供用により、通学路の安全性向上や交通の円滑化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	交通量が多く交通事故発生危険性が高いと思われる。出来るだけ早期の完成が望ましい。	バイパスの供用により、通学路の安全性向上や交通の円滑化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	大変良い計画だと理解しています。早期完成を希望します。	当該道路の完成により、広域的なネットワークが強化され、安定した物流の確保や産業のさらなる活性化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	朝の渋滞が多く、計画的な時間での通行ができない。 車の横を通る通学の自転車には常に危険を感じる。	バイパスの供用により、通学路の安全性向上や交通の円滑化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	工事の早期着手を望む。	当該道路の完成により、広域的なネットワークが強化され、安定した物流の確保や産業のさらなる活性化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	この道路を開通させることにより、他の地域が便利になる。	当該道路の完成により、広域的なネットワークが強化され、安定した物流の確保や産業のさらなる活性化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 大規模特定河川事業

箇所名: 一級河川 沼川 (沼川新放水路)

照会者: 沼川河川改修事業の受益地区自治会役員 16名

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	・近年は台風や低気圧が巨大化し、水害の恐れが増大しているため、計画された工事の安全かつ早期の完成をお願いしたい。(9名)	関係機関との調整(JR東海道本線や国道1号など)を進め、早期の完成を目指してまいります。
2	事業継続を要望	・重機の振動や騒音が大きいため、早期完成を望む。 ・終業時刻の徹底や、土曜日、祭日、夜間の作業の管理をお願いしたい。(4名)	作業時間の徹底や運搬ルートの分散などにより、騒音振動の低減に努めてまいります。
3	事業継続を要望	・近年の異常気象にともない、河川の整備は急務だと感じる。 ・暗渠部の工事完成後の空地の有効利用策を検討し、公園や避難地などとして役立ててほしい。(2名)	実現性や法令上の観点から可能かどうか検討を進めているところとなります。
4	事業継続を要望	・沼川本川の護岸についても整備をお願いしたい。	抜本的な治水対策である新放水路の建設を進めるとともに、本川についても、優先度に応じて護岸等の補修を実施してまいります。
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 河川改修事業

箇所名: 一級河川小潤井川

照会者: 小潤井川河川改修事業の受益者11名

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	安全・安心に日常生活を送るため、水害対策は万全である必要があると考える。地区住民と意見交換をしながら、早期完成に向けて事業の継続を望む。	地区住民と意見交換をしながら、事業を進めていきます。
2	事業継続を要望	小潤井川と国道139号線が交差する辺りは、ちょっとした大雨が降ると川が満水になって、橋が水に浸かっている状況を見ている。台風みたいな大雨では、大規模な浸水被害が発生するのではと、気が気でない。HP等を見ると、もっと短い時間で改修するとなっていたが、一刻も早い完成を望んでいる。	早期に事業効果が発現するよう工程管理を行い、事業を進めていきます。
3	事業継続を要望	香西新田の市道弥生線の道路冠水は市道沿いの河川の氾濫により生じているため、その原因の1つである排水先の小潤井川の改修を早期に完成して欲しい。	早期に事業効果が発現するよう工程管理を行い、事業を進めていきます。
4	事業継続を要望	河川の改修についてはおおむね賛成ではあるが、桜や花壇が今後どのようになるのかは説明いただきたい。	河川改修に理解と協力が得られるよう、地区住民を対象とした事業説明会を実施していきます。
5	事業継続を要望	現在完了した橋の拡幅や前後の堤防が改修されたことにより、気持ち的には安心が増えたと感じている。拡幅しないより拡幅する方が水害に強くなるのは確かなので、改修を進めて頂きたい。	引き続き、上流へ向かって拡幅工事を進めていきます。
6	事業継続を要望	改修は継続してもらいたいが、改修することによるメリット・デメリットを河川周辺住民に分かり易く説明する必要があると考える。	改修事業について、住民の納得が得られるよう、分かり易い説明を心がけます。
7	事業継続を要望	少しでも被害が減少するのであれば改修を進めるべきだと考えるが、工事費が増えることについては気になる部分ではある。	コスト縮減を図りつつ、事業を進めていきます。
8	事業継続を要望	改修を継続して頂きたいが、今後の改修計画をはっきりと示す必要があると思う。1年でわずかしか進んでいないと思われるので、全体の改修計画、特に対策に要する期間を明確にしていきたい。	川に架かる橋梁が多く、橋梁の架け替えや補強を行いながら河川の改修を行っているため、時間を要しています。事業説明会等にて、皆様の理解を得られるよう、説明を行っていきます。
9	事業継続を要望	河川を広げることで、並行して走る道路はどうなるのか。道路が狭くなるなどの支障はないのか。沿線に住んでいる人が、河川を広げたから不便になったと思わないような、総合的な改修をしていただきたい。	基本的には、現在の道路幅を狭めることはしないよう、事業を進めていきます。
10	事業継続を要望	小潤井川の改修で付近の浸水対策にはなるかと思う。上流域においても救われる地区があるならば、どんどん進めるべきかと思う。	早期に事業効果が発現するよう工程管理を行い、事業を進めていきます。
11	事業継続を要望	ゲリラ豪雨や線状降水帯など、雨の降り方も変わってきており、市民の生命、財産を守る観点からも改修は必要と考える。	近年多発している豪雨にも対応できるよう、流域全体での治水対策を進めるとともに、その一部として河川の改修事業も進めていきます。

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名： 広域河川改修事業

箇所名： 二級河川萩間川

照会者： 萩間川河川改修事業の受益者10名

担当課：河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	改修前には10数年に1回程度の割合で浸水被害等が発生。継続した改修事業が必要。	流域の安心・安全が確保されるよう、今後も事業進捗に取り組みます。
2	事業継続を要望	降雨による洪水被害が発生しないよう早期改修を要望する。	流域の安心・安全が確保されるよう、今後も事業進捗に取り組みます。
3	事業継続を要望	近年集中豪雨が日本各地で発生している。大江江湖畑～相良中学サブグラウンド付近は海拔2.7mと低い。何回か被害を経験している。萩間川拡幅工事を要望する。	河床掘削等を適切に実施し、維持管理に努めます。
4	事業継続を要望	年々異常気象多発。下流域の相良地区は砂利など堆積し、洪水など発生。事業継続を要望する。	河川拡幅を行うとともに河床掘削を実施していきます。
5	事業継続を要望	周辺の排水、雨水が集中する河川。上流域も川幅を広げ、増水に耐えられる改修工事を要望する。	引き続き上流も河川拡幅し、流域の安全を確保します。
6	事業継続を要望	洪水に耐えられる河川改良工事を要望する。	流域の安心・安全が確保されるよう、今後も事業進捗に取り組みます。
7	事業継続を要望	大雨のたびに萩間川に流入する堀之内の水路に逆流して道路が冠水する。住宅への浸水も予想されるので早期の改修を要望する。	早期完成を目指し、今後も事業進捗に取り組みます。
8	事業継続を要望	以前大江地区に住んでいた時に萩間川が氾濫し、自家用車が水没した経験がある。早期の全体改修を要望する。	早期完成を目指し、今後も事業進捗に取り組みます。
9	事業継続を要望	洪水被害が発生しないよう改修を要望する。	流域の安心・安全が確保されるよう、今後も事業進捗に取り組みます。
10	事業継続を要望	洪水被害が発生しないよう改修を要望する。	流域の安心・安全が確保されるよう、今後も事業進捗に取り組みます。

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 河川改修事業

箇所名: 二級河川黒石川

照会者: 黒石川河川改修事業の受益者10名

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	工事の早期実施を望みます。河川災害に対する不安を解消していただきたい。	早期完成を目指して事業を推進します。
2	事業継続を要望	黒石川下流部は新規住宅も増え大雨や地震による津波対策としても河川の改修、強靱化を強く感じます。事業を継続して安心、安全な住み良い町づくりを希望致します。	早期完成を目指して今後も事業を継続していきます。
3	事業継続を要望	昨今の災害に対して、河川改修事業は常に継続を望みます。川底の掘削や護岸の工事等、災害に対する備えは怠ることはできないと思います。	早期完成を目指して今後も事業を継続していきます。
4	事業継続を要望	黒石川の土手の部分が崩れそう。住民参加で草刈りの際危険な事もあったので早く改修をお願いしたい。	護岸の安全を確保するためにも、早期完成を目指して事業を推進します。
5	事業継続を要望	単なる水防工事にとどまらず、護岸をコンクリートで固めるような水路ではなく、水生昆虫・小魚・甲殻類等の水生生物が住み付き易い棲家のある環境に配慮した河川であってほしい。	河川内の環境に配慮しつつ、事業を進めていく予定です。
6	事業継続を要望	近年のゲリラ豪雨から浸水被害を防ぐため、工事区間において河川改修を早急に行い、事業の検証と事業の見直しによる事業完成を望みます。	早期完成を目指して事業を推進します。
7	事業継続を要望	早目の実施をお願いしたい。改修計画の図面を早めに示していただきたい。今すぐでなくても計画がはっきりした時点で良い。	設計が未完了の区間については、設計が完了でき次第、地元の皆様に説明会等を通して計画を示していく予定です。
8	事業継続を要望	異常気象による台風被害、大雨による洪水、津波等の被害、予測できない想定外が多くみられる世の中、早急な護岸工事の実施をお願いしたい。特に焼津市東小川8丁目9番、6番、3番の付近は護岸が低いと言われていいます。早急の対応をお願いします。	下流側から整備していくことにより、上流側の流下能力も向上すると思われますが、上流側を一日でもはやく整備できるよう、事業を進めていきます。
9	事業継続を要望	計画が決まったら早目の工事をお願いします。	黒石川の河川整備計画に基づき、河川改修事業を進めていく予定です。
10	事業継続を要望	近年、全国的に集中豪雨が発生し水害を見るにつけ、当地区でも同様の被害が起こらない為にも早期改修が必要と思われる。	早期完成を目指して事業を推進します。

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 河川改修事業

箇所名: 二級河川梅田川

照会者: 梅田川河川改修事業の受益者11名

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	梅田川の河川拡幅の治水工事に早く着手してほしい。	早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	周辺の宅地化と同時に豪雨時の水が一気に梅田川に流れ込むため、梅田川が満杯になりオーバーフローとなり不安である。	早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	梅田川は、今後一層の増水が予想され異常気象による河川の氾濫が懸念されている。	早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	早期に河川改修事業をお願いします。	早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	①事業計画には賛成だが、柏橋を撤去すると住民が孤立してしまい、迂回されるため、現橋の場所に歩行者専用でも良い橋を残してほしい。 ②現市道が直線な道路をS字にする意味が不明。河川に対し、直角に架橋する事は理解できるが、現道を広げる方がそれを上回る利点があると思う。	①柏橋は、東名高速道路に近接しているため、橋の下部工施工時に東名高速道路の法面の安全上、支障となる。よって、柏橋を廃止し、上流側にある無名橋に交通を集約する。 また、歩行者専用橋においても同様に東名高速道路の法面の安全上、支障となるため、架橋できないことをご理解いただく。 ②河川事業により治水安全上、架橋は河川に直角を基本としているため、橋に取り付く道路の線形がS字になるが、ご理解いただく。
6	事業継続を要望	特になし	-
7	事業継続を要望	特になし	-
8	事業継続を要望	近年、温暖化が進み豪雨の被害が出ているので、越後島もすっかりした河川が出来れば、洪水の存廃が少しでも減少できれば良いと思います。	早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	梅田川も一日も早く拡幅整備を施工して流水量を増やして防災する河川事業の早期着工を強く要望いたします。	早期完成を目指して事業を推進する。
10	見直しを要望	新設する無名橋の架橋位置変更を要望します。 市道越後島元大橋線(無名橋)を西方面に行くとき一旦停止せねばならず、通行の支障となり交通事故も予想される。 説明会では、橋を河川と直角にするためと言われたが、既存の橋は斜橋であるし、元からの道路を活用できる。「坂本」、「八橋」、地区の住民にとって毎日の利便を考え、ぜひ見直しを要望します。後世の子孫のために再考してください。	河川事業により治水安全上、架橋は河川に直角を基本としているため、橋に取り付く道路が、一旦停止することを、ご理解いただく。
11	見直しを要望	明確な日程を早めに示してほしい。	大まかなスケジュールは、昨年末(R3.12.16)の地元説明会で示しているため、用地交渉や用地買収等の詳細な日程は、決まり次第、連絡する。

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 侵食対策事業

箇所名: 竜洋海岸

照会者: 遠州灘沿岸侵食対策委員会における委員等からの意見

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	第23回委員会(R2.7)	温暖化の影響かわからないが高波浪が来襲するようになると、平均的に波の方向も変化して、それに合わせて大きな地形変化が生じることがある。2019年台風での竜洋海岸の農林堤の被災も波が来襲する方向が通常時と異なっていたことによる大きく侵食されたことが原因と考えられる。	定期深淺測量に加えて、高波浪前後のパトロール・定点写真撮影等で侵食発生の有無等を確認し、優先的な養浜の実施等の対応を図っていく。
2	第23回委員会(R2.7)	竜洋海岸(磐田市駒場の農林堤の前)で大きく砂をとられて、消波ブロックがむき出しになっている。短期的に地形変化が生じているため、短期的にモニタリングができるようお願いをしたい。	定期深淺測量に加えて、高波浪前後のパトロール・定点写真撮影等で侵食発生の有無等を確認し、優先的な養浜の実施等の対応を図っていく。
3	第24回委員会(R3.3)	竜洋海岸への養浜と合わせて、天竜川から漂砂の連続性に配慮した施設の改良(離岸堤の嵩下げ)について検討した方がよい。	離岸堤嵩下げを一部実施し、その影響を確認しながら、他の離岸堤の嵩下げ実施の必要性について確認していく。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 侵食対策事業
 箇所名: 浜松五島海岸
 照会者: 遠州灘沿岸侵食対策委員会における委員等からの意見

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	第25回委員会 (R4.3)	浜松五島海岸の離岸堤より河口側のところは侵食が進んでいる。以前よりも河口砂州の形が変わってきている。河口砂州の形の変化と五島海岸の汀線の変化を細かく見ていく必要がある。重点的にモニタリングをした方がよいと思う。	浜松五島海岸の河口部周辺については、航空写真、定期深淺測量に加えて、高波浪前後の定点写真等により重点的にモニタリングを実施する。突堤工と養浜の実施による侵食対策の効果発現のための早期の整備完了を図る。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業
 箇所名: 寺の脇
 照会者: 寺の脇急傾斜地崩壊対策事業の受益者 9名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今後も急傾斜地崩壊対策事業を進める必要性を感じている。(9名)	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業

箇所名: 大久保

照会者: 大久保急傾斜地崩壊対策事業の受益者 23名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今後も急傾斜地崩壊対策事業を進める必要性を感じている。(15名)	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
2	その他自由意見	急傾斜工事完了させて頂き本当に気持ちが楽になっております。心より感謝です。	未施工区間につきましても、早期完成を目指して事業を推進していきます。
3	その他自由意見	現在、当地区の急傾斜地の工事を行っていますが、私の家の前に小さい川があります。大雨の時などに大、小の石がごろごろと流れ落ちてきます。聞くところによりますと小川は沼津市の管轄の為、改修工事はしないとの事。せっかく急傾斜地崩壊対策事業を行っても、土砂が川を降って大惨事になってしまいます。是非、川の改修工事も合わせてお願いします。	河川管理者へ御意見を伝えていきますが、大雨時には土砂災害警戒情報や市が発信する情報を参考にして、早めの避難をお願いします。
4	その他自由意見	現在の生活しているスペースが奪われたり、狭められて生活が不自由になるような工事ではこの事業に賛同できない。受益者以外の生命財産がこの事業により守られることには賛同するが、受益者負担金や境界確定のために必要のない隣地まで購入してかなりの出費をしている現状。スムーズに早く事業が完了する為に協力しているつもりではあるが現在以上のスペースや便利さが得られないのであれば賛同できない。現在借りて住んでいる方にも不自由不便さや迷惑をかける事になる。それがきっかけで退去され、今後入居者が見つからないとでもなればその損害も計り知れない。目の前や近くに住んでいるのに工事箇所と接している者だけが時間を割き負担をし、それに増して不自由になり尚且不便さからいう財産価値が下がることは納得できない。	地域の御意見を丁寧にお聞きしながら、円滑な事業推進に努めていきます。
5	その他自由意見	大久保急傾斜地の工事は7年目になるが、あと何年かかりますか。大雨の時はいつも土砂崩れしないかと心配しています。早く工事、終わらせる様願います。	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきますが、大雨時には土砂災害警戒情報や市が発信する情報を参考にして、早めの避難をお願いします。
6	その他自由意見	ありがとうございます。私の家周りは完了しています。以前は心配と不安で雨は病気になる程でしたが、今では安心した生活をさせていただいております。この事業は1日も早く引き続いて当初の計画通り完成していただきたいです。よろしく願い申し上げます。	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
7	その他自由意見	工事をやっている所と、対策事業からはずれてやってもらえない所がある。家のとなりまではやっているが、私の所ははずれています。とても大雨の時は不安です。私のうら山が、がけ崩れの災害の恐れがある危険なところに入っていると思います。	地域からの要望を踏まえ対策範囲を決めていますが、大雨時には土砂災害警戒情報や市が発信する情報を参考にして、早めの避難をお願いします。
8			
9			
10			

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業

箇所名: 横砂大平山

照会者: 横砂大平山急傾斜地崩壊対策事業の受益者、地区役員、市担当者 20名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今後も急傾斜地崩壊対策事業を進める必要性を感じている。(20名)	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
2	その他自由意見	要望を上げて20年以上、予算をとり、早期に工事を行ってください。	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
3	その他自由意見	早めの工事をお願いします。	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業
 箇所名: 大沢寺
 照会者: 大沢寺急傾斜地崩壊対策事業の受益者 10名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今後も急傾斜地崩壊対策事業を進める必要性を感じている。(9名)	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業
 箇所名: 出本
 照会者: 出本急傾斜地崩壊対策事業の受益者 13名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今後も急傾斜地崩壊対策事業を進める必要性を感じている。(10名)	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 海岸環境整備事業
 箇所名: 熱海港海岸
 照会者: 海岸環境整備事業の受益者 10名

担当課: 港湾整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	住環境の向上は勿論、観光客の為に、今後も整備は必要と思う。	<p>良好な海岸環境の創出に向けて事業を推進します。渚地区については、熱海市と協力しながら渚第4工区の早期完成を目指して整備を進めています。また、多賀地区については、他事業で実施している高潮対策事業及び災害復旧事業についても早期完成を目指しています。</p>
2	事業継続を要望	全国的に人口が減少し、熱海市も例外でないと承知している。少しでも住み良い街づくりをしていくため、ある程度の負担はやむを得ないと思います。特に観光都市として生き残っていくためには大胆な施策が必要だと思う。	
3	事業継続を要望	自分の住んでいる所なので、景観を良くしてもらえのなら、少しでも協力したいと思う。負担をするのなら、花火大会などの際は、地元の方専用スペースを取り、利用できる様にしてもらいたいと思う。	
4	事業継続を要望	整備により、景観が良くなることは、観光都市熱海の活性化にもつながると思う。あわせて、津波対策にも配慮した公園計画にすることが必須だと考える。	
5	事業継続を要望	防災上も有効な事業だと思うので、できるだけ早く事業を進め、さらに、有効利用してもらい熱海のイメージアップにつなげてもらいたい。	
6	事業継続を要望	公園の整備事業を行って、地域環境が向上する事で住人の感心、関心が高まるし、地区が活性化すると思う。伊豆半島の玄関口である熱海への誘客にもなる(つながる)	
7	事業継続を要望	この事業が、少しでも高潮への不安がなくなるならば、早く始めて欲しいです。	
8	事業継続を要望	赤ちゃん連れの方や妊婦さん、小さな子供さんに優しい、更に安心できる環境作りを期待しています。	
9	事業継続を要望	平日の利用者が少ない。利用者を増やすには売店等の充実度を高める方策が必要ではないか。売店等を運営する地元業者の協力を強化できないか、知名度の高い外部企業の導入も検討して欲しい。地元に戻元される利点が増えれば、地元からの反対意見は減少していくと思う。	
10	事業継続を要望	長浜海浜公園計画は当初から下多賀地区を含めた計画であり、住民として、通学路の拡幅を含め、国道135号線の防災道路の整備を含めた公園と一体の計画と理解している。早急な計画の実現に配慮してほしい。	

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方

資料5

事業名: 高潮対策事業

箇所名: 清水港海岸

照会者: 高潮対策事業の受益者(地元住民及び港湾関連企業)

担当課: 港湾整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	見直しを要望	旧L1高さ区間(第3次想定)の嵩上げを要望する。	事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す(無堤区間を優先)
2	事業継続を要望	自社敷地が堤外地となってしまうが、地域のために協力する。	関係者の防護ライン理解のもと、事業を継続させ、早期完成を目指す。
3	事業継続を要望	早期の完成を望むが、企業活動に影響が無いようにしてほしい。	関係者と工事調整を行いながら、事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す。
4	事業継続を要望	地域のために協力する。(事業用地提供)	関係者の事業協力のもと、事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す。
5	事業継続を要望	南海トラフ巨大地震の発生が高まっており、住民としては津波被害が大変気になる。安心して生活するためにも、何かしらの形で事業進捗や工程等が、地域へ分かるように情報共有いただきたい。	地域と情報共有を図りながら、事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す。
6	事業継続を要望	自然災害は、全国どこでも起きており、これらの対策を行っていくのは難しいことはわかるが、1年でも2年でも早く整備してもらいたい。	事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す。
7	事業継続を要望	人命に関わることなので、事業進捗を早くしてもらいたい。	事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す。
8	事業継続を要望	事業進捗を早くするために、重点的に予算を投入してもらいたい。	別事業の採択を目指すと共に、事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す。
9	事業継続を要望	当地区の整備が完了しても、隣接地区の整備が完了しないと、津波を防ぐことができないため、隣接地区の整備を進めてもらいたい。	早期に当地区の工事完了を行い、完了後、隣接地区の工事着手を目指す。
10	事業継続を要望	海岸保全施設の整備については、隣接する廃棄物埋立用地の埋立工事や土地利用等の調整を行いながら、早期に進めてもらいたい。	隣接する廃棄物埋立用地事業との調整を行いながら本事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す。

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方

資料5

事業名： 港湾整備事業(小型船溜り整備事業)

箇所名： 清水港

照会者： 港湾整備事業(小型船溜り整備事業)の受益者

担当課：港湾整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	当初は新興津バース整備、小型船溜り整備、人工海浜整備は三位一体で整備される予定であったが、小型船溜り、人工海浜整備が遅れている。少しでも早く整備完了できるようにしてほしい。	コスト削減と予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	今の船溜りより波が強い所に移るので、予算がかかるのは仕方がないが、船を入れておけない施設では困る。	防波堤(I)の断面は当初5.6mの暫定高さで整備していたが、平成28年度から暫定の高さを6.8mで整備している。
3	事業継続を要望	将来的に港口部及び小型船溜り内に堆砂していくことが懸念される。	堆砂状況については、年に1回定期的に計測を行っている。今後、構造物が完成していく中でどのように状況が変化していくのか引き続き傾向をつかんでいく。
4	事業継続を要望	漁協としては規模の大きな集客施設(直売所)を運営するつもりはない。テナントとして入るなら良いが、漁港施設として整備するのは違う。	漁協の負担にならない方法が重要である。(県) 物販施設は漁業振興になるものとしたいが、必要なれば規模の縮小など計画を見直す。(市)
5	事業継続を要望	施設費用等が算出されてきたので、県、市がどのような予算で整備するのか決めてほしい。費用を誰が負担するのか明確にならないと、漁協組合員に説明ができない。	施設の内容や規模を精査し整備手法について、今後も継続して協議する。
6	事業継続を要望	来客者や釣り人が漁港に進入されるのは困るので、港湾ゾーンは他のエリアと分離して欲しい。	地域活性化の核となる観光交流拠点の整備を目指して、隣接して行われている緑地整備事業と併せて、効率的な事業の推進を図る。
7	事業継続を要望	有効活用できるように、想定する来場車両に対して、必要な駐車スペースやアクセス道路の検討が必要	駐車場やアクセス道路については、事業の進捗に合わせて、道路管理者等関係者と協議しながら検討していく。
8	事業継続を要望	トラック、コンテナ車両との関係も十分検討する必要がある。	現在の課題を把握しながら、関係機関とも協議を続けてアクセス道路のあり方を検討する。
9	事業継続を要望	物揚場の構造(高さ)について、小型漁船の昇降に支障が出ないよう検討する必要がある。	物揚場の高さや幅員について、利用者と協議して検討する。
10	事業継続を要望	直売所等で漁協の商品を取り扱う等、漁業者の担い手育成につながる施設とされたい。	若手漁業者等の意見を取り入れ、施設の利用方法を検討する。

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 海岸保全(高潮)事業

箇所名: 焼津内港地区、小川内港地区周辺自治会

照会者: 各自治会長

担当課: 漁港整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	胸壁工事の完成箇所を見ると、説明で聞いていたほどコンクリート壁の圧迫感を感じずむしろ、津波から守られる安心感を得られている。早期に工事が完了するよう工事を進めてほしい。	これまでの地元意見を踏まえ、焼津内港地区及び小川内港地区の両地区の進捗を同時に図ることに努めている。投資効果は両地区に分散するが、漁港全体の早期完成に努める。
2	事業継続を要望	胸壁整備の必要性は承知しているが、焼津市の基幹産業である水産業を津波から守る手段として、外港の港口に水門を建設するなど検討してほしい。	日本有数の水揚げ金額及び水揚げ量の焼津漁港が市の一大基幹産業であることは、認識している。外港地区の水産業を守る方策の検討を引き続き進める。
3	事業継続を要望	胸壁に設置したアクリル板で視界が確保でき、圧迫感が少なくなるので、アクリル板の増設を要望する。	胸壁で陸側と海側が遮断されると船舶へのいたづらや、機材の盗難などが懸念されることから防犯対策を主たる理由としてアクリル板を設置している。このため、物揚げ場の幅を踏まえアクリル板設置間隔を10m程度としています。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 水産物供給基盤整備事業

箇所名: 妻良地区

照会者: 伊豆漁業協同組合関係者 9名

担当課: 漁港整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	南防波堤の被覆ブロックの設置は、後から図面に書いたのではないかと	平成30年度の測量結果により、被覆ブロックの配置は修正しているが、設計当初より計画に入っている。
2	事業継続を要望	引き波の時は、南防波堤のところは波が通らないのではないかと	引き波が防波堤より低い箇所を通る可能性が高く、波が通らないことはないと考えます。
3	事業継続を要望	津波が発生した時には、防波堤はもたないのではないかと	防波堤が転倒しないように、背面に石材を投入し、被覆ブロックで防護することで、津波による衝撃力の抑制するものである。
4	事業継続を要望	防波堤(ケーソン)が倒壊している。	防波堤は工事中に倒壊しているもので、防波堤の前面に消波ブロックを設置した後は、動いていない。
5	事業継続を要望	防波堤に杭を打った方が良いのではないかと	支持層が深く事業費が膨大になるため、難しい。
6	事業継続を要望	現在はエビが取れているが、エビが取れなくなるので、地形を変えてほしくない。被覆ブロックも網が引っかかる恐れがある。	防波堤の基礎石の上に被覆ブロックを設置する。被覆ブロックは、穴がたくさん開いているものであるが、水の力を逃がす構造のため、やむを得ない。穴の無いコンクリート塊にしまうと約3倍の重量物が必要になる。
7	事業継続を要望	他箇所と同じような事業を行っている箇所はあるのか。	下田で国土交通省が防波堤を作っている。
8	事業継続を要望	今回の被覆ブロック設置により水深が浅くなり、普段の波が早くなるのではないかと。また、現在の航路が狭くなってしまう恐れがある。	水深12mほどの位置に、高さ1.3m、大きさ約4m×4m、重量16tの被覆ブロックを、防波堤基礎の石材の流失対策のために設置する。現状の磯場の上に被覆ブロックを設置するわけではないので支障はないといえる。
9	事業継続を要望	妻良地区には約200人がいる。命を守ることを考えれば、漁のことばかり言っているわけにはいかない。	
10			

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名:	街路整備事業
箇所名:	JR東海道本線・JR御殿場線
照会者:	事業説明(まちかどトーク)来場者(令和3年10月～令和4年4月)

担当課:街路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	南北の行き来が不便なので、早く進めてほしい。片浜西沢田線を早く通れるようにしてほしい。	踏切が除却され、鉄道の高架下を横断する道路が拡幅、新設されることにより、交通の円滑化が図られ、道路混雑の解消につながる。片浜西沢田線は沼津市が現在施工中であり、今後も沼津市と連携し、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	沼津駅も静岡駅や浜松駅のように南北移動ができるようになってほしい。三つ目(ガード)やあまね(ガード)へ回るのは大変である。	踏切が除却され、鉄道の高架下を横断する道路が拡幅、新設されることにより、交通の円滑化が図られ、道路混雑の解消につながる。今後も早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	三つ目ガードが冠水するのが不便。	鉄道が高架化されることで、現在のガードは平面交差化されるため、ガードの冠水は解消される。今後も早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	事業で駅の周りの渋滞が解消されると良い。今はガード下を通るのが怖い。以前は事故が起っていた。	鉄道を高架化することで、駅の南北はコンコースで通行することが可能となり、歩行者・自転車に安全で円滑な通行が確保される。今後も早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	車両基地の電車の出入りで踏切が頻繁に閉まるのでどうかしてほしい。車両基地が早く移転してほしい。	車両基地が片浜地区に移転され、現在の車両基地付近の踏切は除却され、鉄道の高架下を横断する道路が拡幅、新設され、交通の円滑化が図られ、道路混雑の解消につながる。今後も早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	明電舎付近の交通改善を望む。東西の往来も改善してほしい。	市道0120号線の踏切が除却される予定である。高架構造物の南側に都市計画大手町片浜線が東西道路として整備される予定である。今後も沼津市と連携し、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	高架下など駅の近くに図書館や音楽ホールが欲しい。高架下に商店ができるとう良い。街が活性化すると良い。	本事業に伴い生じる鉄道跡地や高架下等を活用することが可能となるため、沼津市が中心市街地まちづくり戦略で市民の皆様の意見を伺いながら、拠点づくりを検討していく。
8	事業継続を要望	駅の近くに人が集まるような施設をもっと作ってほしい。お金を取ってでも人が集まるような施設を作るべき。作る方の立場でなく、来る人の立場で考えてほしい。	本事業に伴い生じる鉄道跡地や高架下等を活用することが可能となるため、沼津市が中心市街地まちづくり戦略で市民の皆様の意見を伺いながら、拠点づくりを検討していく。
9	事業継続を要望	OPEN NUMAZUは画期的な試みで良いと思う。コロナが落ち着いてきたら、もっとイベント的なことをやってみようのか楽しみである。	本事業の本格展開により大きく変化する中心市街地については、沼津市が、「ヒト中心」のまちづくりに向けて、県道を活用した社会実験などを実施しており、県としてもこの取組を支援していく。
10	事業継続を要望	新貨物ターミナルが出来ることにより、原がもっと発展してくれるとう良い。一本松アンダーを(国)1号まで繋げて欲しい。	原地区のまちづくりについては、沼津市が検討していくが、県としても沼津市と連携し対応していく。
11	事業継続を要望	(原地区の)アンダー道路、進入路はいつできるのか。とにかく南北の移動が不便ではないか。土地は全部収用したのだから早く着手してほしい。	一本松アンダー道路及び進入路は、現在、沼津市が整備中である。沼津市が周辺道路整備は、新貨物ターミナルの施設整備に合わせて行っていくため、市と連携し事業を推進していく。
12	見直しを要望	新貨物ターミナルと新車両基地の移設には賛成だが、高架には疑問が残る。事業費も高く、地震が起きた際に被災して鉄道が止まってしまう心配がある。橋上駅の方が良いのではないか。	橋上駅では、駅周辺の歩行者の南北往来は可能になるものの、沼津駅周辺の慢性的な交通渋滞を解消することができない。また、高架構造物に対しては、最新の設計基準等に基づき設計を行うとともに、可能な限りコスト削減に努める。
13	見直しを要望	事業完成までが長い。鉄道の高架化は事業費がかかりすぎる、ガードの渋滞もそんなにかいことだし、駅の周りの自由通路を高架にしたらどうか。高架事業をやるなら、市長を主導に事業を強引にでも強く推進していった方が良いのでは。	橋上駅と自由通路では、駅周辺の歩行者の南北往来は可能になるものの、沼津駅周辺の慢性的な交通渋滞を解消することができない。引き続き事業の理解が得られるよう努めていく。
14	事業中止を要望	高架化しても沼津に人が集まらないから意味がない。人を集めない沼津のまちは変わらない。昔は駅の周りに色々とあったから行ってたけど、今は何も無い。	本事業に伴い生じる鉄道跡地等を活用して土地の高度利用と高架化により南北市街地の一体化を図ることができるため、沼津市が県東部の拠点都市として成長していくために必要な事業である。引き続き事業の理解が得られるよう努めていく。

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: (都)焼津広幅線(越後島工区) 街路整備事業

箇所名: 焼津市八桶四丁目～焼津市越後島 地内

照会者: 地元自治会関係者 計23名

担当課: 街路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業の継続を要望	渋滞がひどいので、道路整備を進めてもらいたい。地域活性化のため、事業を継続してもらいたい。	交通集中や右折車線の不足によって渋滞が発生していることは認識している。本路線の整備が、渋滞解消と生活環境の向上に繋がるものと考えている。本路線は重要物流道路に指定されているため、平時・災害時問わず安定的な輸送が可能となるよう、早期完成に向け事業を推進していく。
2	事業の継続を要望	歩行者の安全確保のため歩道整備を進めてもらいたい。歩道は3m程度でいいのではないかな。	現道は歩道が狭く、また大型車が多いため、歩行者にとって危険な状況であることは認識している。本路線の整備が、歩行者の安全確保に繋がるものと考えている。歩道については、公安委員会との協議により歩行者と自転車とを分離するため歩道と自転車道を整備する計画としており、幅員は、歩道2.0m、自転車道2.5mとしている。
3	事業の継続を要望	用地買収も進んでいるので、早期の完成を要望する。藤枝市側は長期間かかっているため、スムーズに進めてもらいたい。	引き続き買収箇所の整備を進めるとともに、未買収用地の交渉を行い、早期完成に向け事業を推進していく。
4	事業の継続を要望	災害に強い道路とするため、電柱をなくしてもらいたい。	本事業に限らず、震災時のアクセス機能等の向上や景観阻害の観点からも市街地における無電柱化については積極的に検討していくべきと考えている。今後、地元自治会からご意見を確認し、焼津市役所や電線管理者の合意及び協力体制が整えば、県としても検討していく。
5	事業の継続を要望	交差する市道の右折レーン・信号機の増設、歩行者用信号機による安全な交差点整備をしてもらいたい。既設信号機の右折時間(矢印)を長くしたり、右折矢印を追加してもらいたい。道路横断の地下道等をお願いしたい。	市道側の右折レーンや本線の信号機及び地下道の設置等については、道路利用者の安全が図れるよう、公安委員会や焼津市役所など、関係機関と協議して対応を検討していく。
6	事業の継続を要望	センター分離帯を設けた道路で「安全で安心できる主要道路」の役目を果たしてもらいたい。	本路線は中央分離帯を設ける計画としているため、対向車両や合流車両との事故危険性を低減することができるものと考えている。
7	事業の継続を要望	東名高速道路の函渠工事による自転車・歩行者の迂回路が示されましたが、現状ほとんど利用されていないと思われる。長期にわたる期間のため昼間・夜間、安全に通行できるよう配慮してもらいたい。	施工期間中の誘導路については、自転車、歩行者が安全に通行できるよう配慮し施工していく。焼津市役所や工事受注者など、関係機関と協議して対応を検討していく。
8	事業の継続を要望	取付道路の歩道への樹木の設置は歩道がせまくなる。後々の手入れ・掃除が大変になるので遠慮してもらいたい。側溝へ蓋を取り付けてほしい。(落下防止、雑草、ゴミ対策)	利用者の安全性向上や地域の環境対策を考慮し、関係機関と協議を進めていく。
9	事業の継続を要望	焼津広幅線だけでなく迂回路の充実と周辺道路の整備拡幅なども計画してもらいたい。朝夕の通勤時間帯には30kmを無視して高速で通っているのが心配である。迂回路の中央配水路について、法面の防草策をお願いしたい。また暗渠にして道路の拡幅をお願いしたい。	迂回路と周辺道路の整備については、焼津市役所をはじめ関係機関と連携し、安全に配慮した整備を検討していく。
10	事業の継続を要望	大型トラックを通りやすくしても人や自転車は危険になるだけである。最近、以前に比べてトラックの通行量が増えているため、もっと人や自転車の安全を考えてもらいたい。地区住民が安心して生活できる道路事業をお願いするとともに脇道への交通量が非常に心配。	本事業の整備により2.0mの歩道と2.5mの自転車道を確保するため、現状に比べて安全性は向上すると考えている。地域住民の方への安全性が損なわれないよう、各関係機関と協議して整備を進めていく。
11	事業の継続を要望	近年の異常気象による水害(災害)等の影響がないよう公共事業の対応工事でしっかりと対策を考慮してもらい	4車線化によって、平時・災害時問わず安定的な輸送が可能となるよう、早期完成に向け事業を推進していく。
12	事業の継続を要望	トンネル(地下道)の安全対策と防犯対策を十分に組み込んでもらいたい。(スロープや照明の設置)	各種設置基準に基づき安全対策、防犯対策に取り組んでいく。

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: (都)静波1号幹線 街路整備事業

箇所名: 牧之原市静波地内

照会者: 地元自治会関係者 9名

担当課: 街路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	歩行者の安全のため歩道の整備を進めてもらいたい。	現道は歩道が狭いもしくは未整備であり、危険な状況であると認識している。早期に本路線を供用させることで歩行者の安全につながると考えている。
2	事業継続を要望	渋滞がひどいので、道路整備を進めてもらいたい。	早期に事業を完了させ混雑解消を図りたいと考えている。
3	事業継続を要望	地域活性化のためにも、道路整備を継続してもらいたい。	用地買収が完了していることから、引き続き整備を進め、早期完成に向け事業を推進していく。
4	事業継続を要望	用地買収も完了しているので、早期の完成を要望する。	用地買収が完了していることから、引き続き整備を進め、早期完成に向け事業を推進していく。
5	事業継続を要望	静波区民、市民が待ち望んでいる幹線道路です。1日も早い開通をお願いしたい。	引き続き整備を進め、早期完成に向け事業を推進していく。
6	事業継続を要望	夜間歩道が暗い場所があるため、安全上の対策をお願いしたい。	具体的な対策方法等について、地域の皆様の意見を伺い合意形成を図りながら事業を進めていく。
7	事業継続を要望	電線地中化工事ということだが、夜間の歩行者用の照明設置をお願いしたい。	歩行者の安全確保のため、照明灯の設置を検討している。具体的な設置方法等は、地域の皆様の意見を伺い合意形成を図りながら事業を進めていく。
8	事業継続を要望	信号機の設置を検討されているのか状況を知りたい。	信号機や横断歩道の設置に向け、公安委員会と協議を行っている。引き続き、公安委員会や地元自治体等と協議していく。
9	事業継続を要望	用地買収も進んでいるので、早期の完成を要望する。	用地買収が完了していることから、引き続き整備を進め、早期完成に向け事業を推進していく。
10			